

お知らせ

魔液の Web 申請本格稼働! もう手続きはお済みですか?

平成 20 年度から、廃液回収の際に、下図のような 廃液申請システムを用いて、事前に廃液の種類や内容 を登録することができるようになりました。



また、これまでは、所定の様式に必要事項を手書きする方法でも廃液を受け付けていましたが、平成21年度からは、廃液の搬入申請が、Web申請に一本化されます。これにより、申請書を記入していただく手間が省けると同時に、廃液回収時のチェック時間を大幅に短縮することが可能となります。なお、このシステムを使用するためには、専用のIDとパスワードが必要となります。まだIDをお持ちでない方、IDやパスワードを忘れてしまった方は、お早めに排水処理センターまでお問い合わせください。皆さまのご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

搬入各情		収カード	889:30	a s		接入者情報	e .		IZE3 : 2008-	
Ow/O Initial		開作者 雑紅用 100		UserfD	22-yeshida	責任者	書印 大郎			
411	507		■ A 数		44.0	電話	\$0XX	加入的 お加 太		es ::
MM						76.00	- Constitution	baranation		
廃液の種	額	_		び開出機		-				
q ti		第2章	APM.	0.98		腐液情報		_		
polstillustribus	3107		08	. 16	Unha	EE19	景:頭金銭		物質を	業化
INE	_	1807	28	- 17	United	沟里	8 リットル	AFED.	P. SOR ES.	10 104
主要权分						0889	900-001	\vdash		-
# 5) 37E		WITHOUT THE		[ceas	000-001					
å		30.0 %				数アルカリ 連営	15			
	_					母植物	400~800рда			
						8.0	4	\vdash		
						乳磨	- 41	=		
					- 7	RE	- 37	=		
特記事項			-							

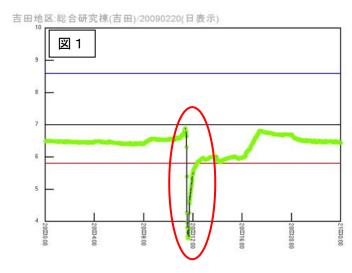
廃液搬入時には、このような様式を添付・提出してください

注意事項

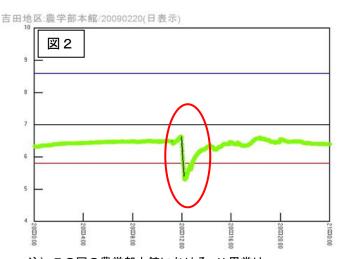
2月20日に総合研究棟で 発生したpH 異常について

今回は、総合研究棟で発生した pH 異常が、農学部本館の pH 値に影響を及ぼした事例をご報告します。

2月20日(金)の11時29分に、総合研究棟でpH 異常が発生しました。ピーク時のpH値は3.48で、か なり強い酸が流されたことが分かります(図1)。



そして、37 分後の 12 時 13 分に、農学部本館で pH 異常が発生しました(図 2)。総合研究棟の実験排水は、pH チェック後に農学部本館の実験排水と合流します。 そのため、総合研究棟の排水が、農学部の実験排水の pH に影響を及ぼしてしまうことがあるのです。



注) この回の農学部本館における pH 異常は、 ワーストランキングの回数には含まれていません

連載企画

「こんなお仕事やっています」 第6回:薬品使用量等の調査

今回の「こんなお仕事…」では、薬品管理システム および薬品使用量等の調査についてご紹介します。

皆さまは、研究に使用される薬品類の、年間使用量 や購入量を、正確に把握しておられますか? 山口大 学では、毎年4月を目処に、年間の薬品使用量等の調 査を行い、その結果を『環境報告書』中に記載してい ます。排水処理センターでは、これらの調査を皆様に 依頼し、集計・分析する作業を行っています。

	薬品調査メ	イン	Midda
0.0001111100	単品調査項目を選択して、その 品品・化学物質が無い方は新規を くださ	選択して、	
一定明哲ペー:	この移動が無いと自動でログアク す。)で、再度ログインが必要とな
	2008	_	
	超速程在進程等目	115	Section 1
	特定化学特質・有機控制	83.0	2010
	通压ガス	未入力	BIR
	その他の物質	未入行	Dist.
	PETRALI		Contract of

調査の対象となるのは、特定化学物質(54種類)や

有機溶剤(54種類)、高圧ガス(77種類)などです。また、PRTR*(化学物質排出移動量届出制度)に関連する物質の使用量等も合わせて調査しています(図1)。皆さまのご協力を、よろしくお願いいたします。

また、薬品管理支援システム『TULIP』(図 2) を運用し、薬品管理の支援も行っています。詳しくは排水処理センターまで、お気軽にお問い合わせください。



PRTR とは…… 有害性のある多種多様な化学物質が、どのような発生源から、どれくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを把握し、集計し、公表する仕組み

スースト ランキング (吉田地区)

📵 2月のpH異常発生回数

2月中の pH 異常発生回数ワースト1位は、総合研究棟(3回)でした。総合研究棟は、初のワースト1位への転落です。該当者の皆さまは十分ご注意願います。一方、農学部本館の発生回数は2回で、4月以来、最も発生回数が少なくなりました。今後もこの調子で頑張ってください。また、理学部3号館で、初の pH 異常が発生しました。非常に残念ですが、これ以上、回数が増えないように、引き続きご協力をお願いします。

順位	建物	2月(回)	1月(回)	年度累計(回)
	総合研究棟	3	1	12
2	農学部本館	2	5	80
3	理学部3号館	1	0	1
4	教育学部	0	0	9
4	理学部本館	0	0	5
4	共通教育棟	0	0	4
4	解剖棟	0	0	2

🚇 3月の廃液回収情報

3月27日(金)14:00~15:00 小串地区 廃液回収(於:小串地区廃棄物倉庫前)

山口大学 総合科学実験センター 排水処理センター

TEL: 083-933-5137(内線: 6137) FAX: 083-933-5138

E-mail: haisui@yamaguchi-u.ac.jp

URL: http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~haisui/index_j.html

皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております・・・

